

第 44 回 WSF 湘南選手権

第 77 回 国民体育大会セーリング競技(国体ウインドサーフィン級)神奈川県代表選考シリーズ
伊勢湾カップ関東地区予選

帆 走 指 示 書

[DP] は、RRS 序文一表記にしたがってペナルティーが決定される規則を意味する。
[NP] は、この規則の違反は、抗議の根拠とならないことを意味する。
[SP] は、レース委員会が、審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。

1 適用規則

1 本大会は、2021-2024 国際セーリング競技規則(以下 RRS と記す)、同付則 B、各クラスルール(全て本帆走指示書によって変更されたものを除く)、レース公示、及び本帆走指示書を適用する。
尚、本帆走指示書 2 に定める「競技者への通告は」、それが指示された時より最優先される競技規則となる。

2 競技者への通告

競技者への通告は、大会本部に設置された公式掲示板または LINE チャットに掲示される。

3 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の出艇申告受付開始までに掲示される。
ただし、レース日程の変更は、発効する前日の 17:00 までに掲示される。

4 陸上で発せられる信号

4.1 陸上で発する信号は、大会本部に設置された信号柱に掲揚される。
4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を「15 分以降」と置き換える。
4.3 音響1声とともに掲揚されるD旗は、「予告信号は、D旗掲揚後 15 分以降に発せられる」ことを意味する。
ボードは、この信号が発せられるまで、離岸してはならない。

5 レース日程

5.1 レース日程

6月 11 日(土)	08:00～	受付・インスペクション
	09:00～	開会式・スキッパーズミーティング
	10:25	最初のレースの予告信号予定時刻
6月 12 日(日)	08:00～	ビギナークラス受付
	09:00～	ビギナークラス スキッパーズミーティング
	09:25	最初のレースの予告信号予定時刻
	16:30	表彰式・閉会式

5.2 レース数

各クラス共、1 日最大 4 レースとし、2 日間で最大 6 レースを行う

5.3 最終日のレースの予告信号は 15:30 以降に発せられることはない。

5.4 レース日程・レース数は、天候などの理由により、レース委員会の裁量により、変更される場合がある。

5.5 1 つのレースまたは、1 連のレースが間もなく始まることを、ボードに注意喚起するために、予告信号を発する前に回答旗を掲揚して知らせる。

6 クラス旗

クラス	クラス旗
Techno293・Techno293PLUS 国体ウインドサーフィン	Techno293 旗(白地に Techno293 ロゴ)
UP WIND ビギナー	黄 旗
ビギナー	青旗(男子)/赤旗(女子)

7 コース

7.1 レース当日のコンディションを考慮した後、D 旗掲揚までに公式掲示板にて掲示される

7.2 コースの見取り図は、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちらの側に見て通過するかを含むコースを示す。

8 マーク

8.1 使用されるマークブイの形状は、公式掲示板に表示されるコース図に示される。

8.2 マークが紛失、または移動した場合、レース委員会は、出来ればこれを定められた位置に復旧するか、同様な形状のマーク、あるいは“M 旗”を掲げたレース委員会艇で、これを交代させる。

9 スタート

- 9.1 レースは、RRSB26.1 を用いてスタートさせる。(ビギナークラスを除く)
- 9.2 スタート・ラインは、スターボードの端にあるレース委員会船上の“SevenSeas 旗”を掲揚しているポールと、ポートの端のレース委員会船上の“SevenSeas 旗”を掲揚しているポールの間とする。
- 9.3 スタート信号後4分より後にスタートしたボードは、審問なしに「スタートしなかった(DNS)」と記録される。
- 10 コースの次のレグの変更**
コースの次のレグを変更するために、レース委員会は RRS33 に基づき次のマーク(またはフィニッシュ・ライン)を変更する事が出来る。
- 11 フィニッシュ**
- 11.1 フィニッシュ・ラインは、レース委員会船上の“SevenSeas 旗”を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークの間とする。
- 11.2 **[DP] [NP]** フィニッシュした艇は、レース中の艇、及び予告信号が発せられている艇を十分に避けて、直ちに本部船右側のウェイトング・エリアへ戻らなければならない。
- 12 タイム・リミット**
最初のボードがコースを帆走しフィニッシュした後、20分以内にフィニッシュしなかったボードは、審問なしに「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録される。これは RRS35 を変更しており、RRSA5.3 は適用されない。
- 13 得点**
- 13.1 得点は、RRSA、RRSB8 に基づき計算される。
- 13.2 シリーズが成立するためには、1レースを完了することを必要とする。
- 13.3 4レース以上が成立した場合、シリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。ビギナークラスは、すべての得点の合計とする。
- 13.4 Techno293 クラスの各ディビジョン(男女含む)、および国体ウィンドサーフィン・ウィンドサーファー・Techno 293PLUSクラスは、同じクラスとして得点される
- 14 [DP] [NP] 安全規定**
- 14.1 RRS40の変更
競技者は衣類または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、水上にいる間ライフ・ジャケットを着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツはライフ・ジャケットではない。主催者はそのライフ・ジャケットが適切でないと感じた場合、その着用を拒否する事ができる。ライフ・ジャケットは適切な規格に準じているものであること。
- 14.2 出艇申告と帰着申告
1) 選手は、出艇前に陸上本部に用意された「出艇申告書」に署名しなければならない。
2) 選手は、帰着後直ちに、陸上本部に用意された「帰着申告書」に署名しなければならない。
- 14.3 海上にて H 旗が掲揚された場合、RRS「レース信号」の意味に加え、「直ちに帰着し、帰着申告を行うこと」を意味する。
- 14.4 帰着申告の締切時刻は、指示 16.3 に規定する抗議締切時刻とする。
- 14.5 レースからリタイヤする艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。
- 14.6 救助を必要とする競技者は、片腕を振り知らせなければならない。レース委員会により救助が必要であると判断した競技者に対し、競技者の意向に関わらず救助を行う場合がある。
これは艇による救済の根拠とならない。この項は、RRS60.1 (b) を変更している。
- 15 [SP] ペナルティ**
指示 14.1、14.2 および 14.5 (安全規定) の申告に関する手続きに誤りのあったボードに対して、レース委員会は審問無しに SCP と記録し、フィニッシュした順位の数に 3 を加えた得点(出艇の手続きに違反した場合はその日の最初のレース、帰着の手続きに違反した場合はその日の最後のレース)を与えることがある。
ただし、失格のボードより悪い得点を与えられることはない。これは RRS63.1 および A5 を変更している。
- 16 抗議と救済要求**
- 16.1 抗議書は大会本部で入手できる。抗議及び救済または審問再開の要求は、適切な時間内に大会本部に提出されなければならない。
- 16.2 抗議締切時刻はその日の最終レース終了後、またはレース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分後とする。
- 16.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、公式掲示板に掲示する。
- 16.4 RRS 付則 T (調停) を適用する。
- 16.4.1 プロテスト委員会の正規抗議審問の代替として、競技者は調停使用の選択権が与えられる、しかし、審問の前に、抗議者および被抗議者の両者が裁定人の判決を受託すると合意する場合のみである。
- 16.4.2 裁定人はプロテスト委員会の2名のメンバーとし、抗議者と被抗議者のみの証言を聴き、どのボードが規則に違反したか(もしあれば)について結論を下す。(RRS 63.6 の変更)
- 16.4.3 判決は抗議の当事者すべてを拘束するが、審問は RRS 66 に基づき再開することができる。
- 16.4.4 裁定人がボードにペナルティーを課す場合、適用されるペナルティーは参加艇数の 30%(少数以下を四捨五入)の得点ペナルティーとなる。得点ペナルティーの加算で、そのレースで失格とされたボードに適用される得点より大きい得点を受ける結果となる場合、そのボードは失格とされたボードと同得点が記録される。得点ペナ

ルティの適用は、該当のフリートの他のボードの得点に影響を及ぼしてはならない。得点は-ARB-として成績表に表示される。

16.4.5 抗議の当事者にアービトラージ・システムが提示された時点で、当事者のいずれかがシステムの受託を拒否する場合、抗議は正規のプロテスト委員会による審問がされ、ペナルティーは失格となる。

16.4.6 裁定人のみが、調停審問を正式ジュリーに委ねる権利を持つ。

17 [DP] 装備と計測のチェック

艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するためいつでも検査される事がある。水上で艇はレース委員会により検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。

18 大会広告

ボードは主催団体から支給された広告がある場合、指定された通りに表示しなければならない。

19 [DP] 支援艇(サポートボート)

19.1 支援艇は大会本部に申請を行うことにより使用が認められる。

19.2 チーム・リーダー、コーチその他の支援要員は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするかもしくはリタイヤするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。

19.3 支援艇に乗船する全ての要員は、競技艇の帆走に影響する行動をとってはならない。これは支援艇による引き波にも適用される。競技の公平性に著しく影響を及ぼしたと判断された場合、当該艇に乗艇する要員、関係する競技者、またはその両方に、プロテスト委員会によりペナルティーが課せられる場合がある。

19.4 レース委員会は荒天等の理由により、支援艇に対し救助の要請を行う場合がある。レース委員会信号艇に緑旗が掲揚された場合、支援艇はレース委員会信号艇に近づき指示に従わなければならない。この場合、指示 20.2 により制限されたエリア内に入ることが許可されるが救助以外の支援活動は行ってはならない。

20 ごみの処分

レース参加艇およびサポートボートは、海中及び砂浜にごみ等を投棄してはならない。必要であれば、大会運営艇に渡してもよい。

21 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータを受信してはならない。またこの制限は携帯電話にも適用される。

22 賞

22.1 参加艇数に応じて賞を授与する。

22.2 Techno293 クラスおよび国体ウインドサーフィンクラスに参加の上位30名を、本年度「伊勢湾カップ」参加資格選手として推薦する。(各クラスおよび男女の人数は、レジスト数により配分する。申込書および受付時の意思表示後のシード権の有無および参加・不参加の変更は認められない。)

23 責任の否認

この大会の競技者は、自分自身の責任で参加する。RRS3[レースすることの決定]参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

24 保険

各参加ボードは、有効な第三者賠償責任保険に加入していなければならない。